



主な内容

- 新しい年のはじめに …………… ②③
- 交通事故火災救急の記録 …………… ④⑤
- 30年度下半期の財政状況 …………… ⑥
- 元旦マラソン・囲碁将棋大会結果 … ⑦
- 加茂の風土記「七谷損壊議員選挙」 …… ⑧

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室 20室を確保しました！ 妊婦の方々は、皆 個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育園を確保しました！ お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。



新しい年のはじめに



加茂市長

小池清彦

新年あけましておめでとうございます。

謹んで市民の皆様には新年のお慶びを申し上げます。
皆様方におかれましては、今年一年、何とぞますます御健勝で御多幸の日々をお過ごしくださいませよう、心からお祈り申し上げます。

本年も市民中心の真の民主的市政をさらに推進し、これまでに到達した市政の高い水準をさらに高め、充実させてまいりたいと存じますので、何とぞよろしく御指導くださいますようお願い申し上げます。

「市民と市長の『よもやま話』の日」には、本年も市民の皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。

今年の秋には、新しい加茂病院が開院します。

新しい加茂病院には、一年かけての県との折衝の結果、産科の個室を十三室（今後増築により二十室をめざす。）確保したところであります。

そして、産科の個室を十三室確保した以上は、今年の最重要課題は、加茂病院に産科を復活することであります。新潟大学から産科の医師に加茂病院に来ていただいて、産科の診療科を開設することであります。これは、泉田元知事さんが私加茂市長に約束されたことであり、花角知事さんも努力しておられるところであります。

市民の皆様！ みんなで頑張つて、必ず加茂病院に産科を実現しましょう！

次に、加茂市は、全国に先がけて全小中学校の教室に冷暖房を設置いたしました。今年、全小中学校の体育館に冷暖房のエアコンを設置いたします。

さらに葵中学校の耐震工事を行います。

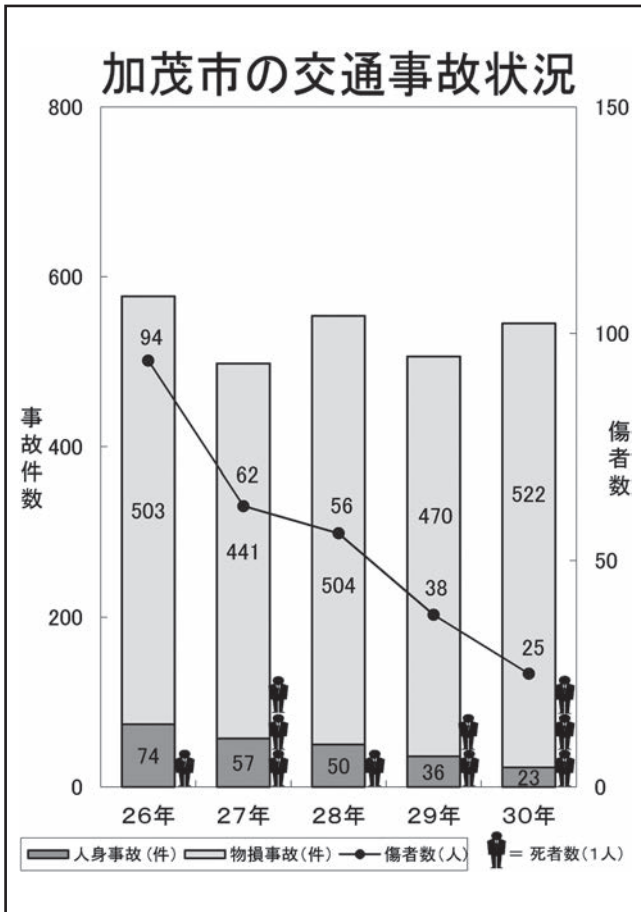
また、改修が必要な葵中、下条小、石川小の非常階段の改築を行います。

今年もまた、加茂市のお金は極力使わないようにし、国や県のお金をたくさんいただいて使うようにしながら、日本のトップクラスの市政を堅持して、お一人おひとりの加茂市民の皆様を最高にお幸せにしたいと存じますので、何とぞよろしく御導きくださいますよう、お願い申し上げます。

平成30年 交通事故 火災・救急 の 記録

加茂市で起こった昨年一年間の火災・救急・交通事故の記録がまとめられました。交通事故では、発生件数が五百四十五件で死亡事故が三件ありました。火災は七件発生し、うち一件で死者を伴うものとなっており、交通事故、火災などでは、わずかなことが原因で、重大な被害につながります。今一度、交通安全、火の取り扱いの確認をお願いします。

交通事故



平成三十年に加茂市内で発生した交通事故は五百四十五件ありました。物損事故（けがを伴わない事故）五百二十二件、人身事故（けがを伴う事故）二十三件、傷者数二十五人でした。平成二十九年と比べると物損事故件数が増加し、人身事故件数及び傷者数はいずれも減少しました。また、死亡交通事故は三件発生しました。

子どもと高齢者の安全な通行の確保と

高齢運転者の交通事故防止

県内の交通事故死者数全体に占める高齢者の割合は十五年連続で半数を超え、昨年は六七・六％でした。また、高齢運転者の加害事故による死者数も全死者数の二・五％を占めています。

ドライバーは歩行中・自転車乗中の子どもの高齢者を見かけたら、減速や一時停止など「思いやりのある運転」を実践しましょう。そして、次代を担う子どもたち

を社会全体で交通事故から守ることが重要です。子どもは大人のまねをします。保護者自身が交通规则を守って子どもの模範となるように努めましょう。



交通事故「なし」キャンペーン街頭啓発
加茂特産の「梨」で無事故をPR

高齢ドライバーが加害者になる交通事故の割合は依然として高い状態です。ゆとりをもった運転を心掛けてください。

横断歩行者の保護

横断歩道では歩行者が最優先です。ドライバーは、横断歩道付近では減速して横断歩行者に備え、歩行者がいるときは一時停止して歩行者の横断を妨げはなりません。

歩行者は左右の安全確認とともに、夜間には反射材やLEDライト等を活用し、ドライバーに発見されやすい明るい色の服装を心掛けましょう。

**110番・119番は
緊急通報専用電話です**

110（事件・事故）119（火災・救急）は、
緊急時のための電話番号です。
火災発生場所を知りたいときは、電話52-1233
（テレガイド）でお知らせします。

すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底
県内一般道路における運転者のシートベルト着用率は九九・一％であるのに対し、後部座席での着用率は五四・一％にとどまっています。チャイルドシート使用率にあっては六三・三％で、全国平均六六・二％を下回っています。

シートベルト、チャイルドシートは「大切な命綱」です。車に乗ったら「前も後ろも、すぐベルト」を合い言葉に、すべての座席で着用する習慣をつけましょう。

チャイルドシートの使用は運転者の義務です。万が一の交通事故のとき、子どもを守るのはチャイルドシートです。子どもの命を守るために、必ずチャイルドシートを使用しましょう。

平成30年の火災発生状況

区 分	平成30年	平成29年
出 火 件 数	7 件	3 件
建 物 火 災	5 件	2 件
全 焼	3 棟	1 棟
損 害 額 (万円)	191	159
人的被害 死者	1 名	1 名
負傷者	0 名	1 名



消防出初式での放水訓練



消防防災ヘリコプター連携訓練

火災

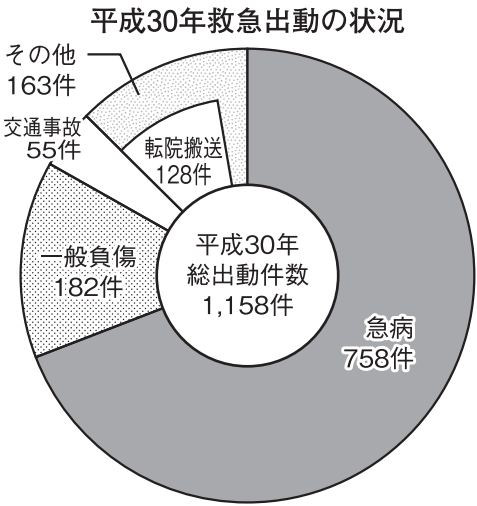
加茂市における平成三十年中の火災は七件です。火災件数の内訳は、建物火災が五件、その他火災が二件でした。

火災は、ささいな原因でも起こります。ひとたび発生すれば、大切な生命・財産を焼き尽くしてしまします。火災から大切なものを守るために、火の元には十分注意し、火を消すまでそばを離れないことをこころがけてください。

救急

昨年中、加茂市では千五百五十八件の救急出動があり、千二人の傷病者が医療機関へ搬送されました。前年に比べると出動件数で二十二件、搬送人員で五人の増加となりました。

出動件数を一日当たりの平均で表すと約三・一件で、約八時間に一回の割合で出動していることになり、加茂市民の二十七・二人に一人が救急搬送されたこととなります。事故種別では、急病が七百五十八件と最も多く、次いで一般負傷の百八十二件、転院搬送の百二十八件、交通事故の五十五件となりました。



平成30年度 下半期の財政状況

加茂市には、どのようなお金が入り、何に使われているのか・・・。
市では毎年財政状況を公表しています。今回は、平成30年9月30日までの財政状況をお知らせします。

■一般会計

予 算 額 145億2,998万円
収入済額 50億1,715万円 (収入割合34.5%)
支出済額 48億1,239万円 (支出割合33.1%)

歳 入

歳 出

■ 上段：予算額
■ 下段：収入・支出済額

歳 入		歳 出	
43億1,600万 25億4,579万	地方交付税※	民生費	41億1,861万 16億8,557万
29億7,642万 6,854万	諸収入	商工費	27億7,741万 6億7,177万
27億2,512万 13億9,235万	市 税	土木費	17億3,408万 2億5,200万
13億 373万 3億7,608万	国庫支出金	教育費	16億9,175万 5億6,095万
11億5,380万 1億3,092万	県支出金	公債費	11億6,652万 4億6,260万
6億7,490万	市 債	総務費	9億1,986万 3億9,473万
4億8,500万 2億7,650万	地方消費税交付金	衛生費	6億9,077万 3億3,175万
8億9,501万 2億2,697万	その他	その他	14億3,098万 4億5,302万

■特別会計

※臨時財政対策債は地方交付税に含む

項 目	予 算 額 (万円)	歳 入		歳 出	
		収入済額 (万円)	収入割合	支出済額 (万円)	支出割合
国民健康保険	29億8,260	11億6,804	39.2%	11億8,510	39.7%
後期高齢者医療	3億 177	9,940	32.9%	1億 718	35.5%
宅 地 造 成 事 業	3億4,942	7,707	22.1%	70	0.2%
下 水 道 事 業	22億4,629	1億3,900	6.2%	7億4,201	33.0%
介 護 保 険	31億4,853	15億4,671	49.1%	13億 843	41.6%
在宅介護サービス事業	5億7,368	2億4,299	42.4%	2億6,427	46.1%
合 計	96億 229	32億7,321	34.1%	36億 769	37.6%

■水道事業会計

項 目	歳 入			歳 出		
	予 算 額 (万円)	収入済額 (万円)	収入割合	予 算 額 (万円)	支出済額 (万円)	支出割合
収益的	5億9,545	2億3,380	39.3%	4億9,816	1億2,994	26.1%
資本的	3,237	209	6.5%	1億6,801	6,660	39.6%

※収益的収入からは減価償却費として2億3,400万円が天引きされ、これが留保財源（貯金）となります。
収入と支出の差は、この留保財源（貯金）で補てんされ、余った分（黒字）は翌年度へ繰り越されます。
この翌年度へ繰り越される留保財源（黒字）は1億322万円です。

市有財産の状況	
土 地	1,778,849㎡
建 物	143,296㎡
構 築 物	253基
基 金	2億 395万円 105,433㎡

市 債 の 現 在 高	
一 般 会 計	93億3,723万円
下 水 道 事 業 会 計	114億2,652万円

※市債現在高は93億3,723万円ですが、国が全額負担する分を除くと45億3,909万円となり、これを返済するとき国がさらにその一部を負担しますので、実際に加茂市が返済する金額は32億3,256万円となります。

第40回

加茂市元旦マラソン

今年最初のスポーツイベントとなる元旦マラソンには85人が出場・完走しました。スタート地点の加茂山公園駐車場前では、スタートラインに揃った選手たちに青海神社への初詣に訪れた人たちからも声援が送られました。結果は次のとおりです。

【2.8kmコース 加茂山公園駐車場・小橋踏切・下条簡易郵便局・ゴール（加茂山公園駐車場）】

▼小学3・4年生男子の部①矢部 童夢・最優秀選手賞（下条小）②鈴木大翔（千葉県二俣小）③萱森 達丸（加茂レッドファイヤードッジボール・下条小）▼小学3・4年生女子の部①小山哉々子（加茂小）②廣川七海（加茂Jr陸上・石川小）③佐藤桃子（石川小）▼小学5・6年生男子の部①亀山翼（加茂FC Jr・石川小）②石附嶺 志（加茂レッドファイヤードッジボール・加茂南小）③渡邊倅太郎（新潟市）▼小学5・6年生女子の部①田中彩寧（下条小）②目黒 晴香（加茂Jr陸上・加茂小）③目黒実咲（加茂小）▼中学生男子の



部①井上卓哉（葵中）②関川祥太（葵中）③目黒健太（燕中等）▼中学生女子の部①坂上美咲・最優秀選手賞（葵中）②横井美沙希（加茂中）▼一般高校女子の部①皆川いろは（新津高）②高田優心（長岡高）③波塚美奈子▼一般男子（40才以上）の部①梅田誠（FUN RUN）②廣川慎一（加茂Jr陸上）③松原克明

【4.9kmコース 加茂山公園駐車場・小橋踏切・小橋交差点・福島交差点・下条簡易郵便局・ゴール（加茂山公園駐車場）】

▼一般高校男子の部①小柳泰治（東京情報大）②小川友之（T&M）③飯岡永悠（東京学館新潟高）

市民囲碁大会

期日 1月6日

会場 中央コミュニティセンター

参加者 31名

【Aクラス（四段以上）】①大関 勝正・新潟日報杯（小橋二）②吉田弘介（田上町）③齊藤敏一（三条市）

【Bクラス（二〜三段）】①向井 俊一（千刈三）②小柳徳栄（田上町）③渡辺喜郎（田上町）

【Cクラス（級位〜初段）】①泉 田勝範（旭町）②野口和幸（田上町）③北澤忠男（陣ヶ峰）



市民将棋大会

期日 1月20日

会場 中央コミュニティセンター

参加者 36名

【Aクラス（初段以上）】①笠原 由光（上三区）②山際満（番田）③神田達夫（田上町）

【Bクラス（級位）】①松澤正・新潟日報杯（中興野）②茂木実（青海町2）③青柳周平（番田）

【Cクラス（その他）】①小林敏 弘（青海町2）②添田和宏（三条市）③山口恭平（栄町）

【子どもの部】①山田康太（石川小）②諸橋瑛心（下条小）③伊丹 飛翔（加茂西小）



激化する七谷村会議員選挙

昭和四年（一九二九）三月二十
六日に行われた七谷村会議員選挙
は、定員十四名のところ十九人が
立候補して、それまでにない激し
い選挙戦が繰り広げられた。

この選挙は、大正十四年（一九
二五）に公布された普通選挙法に
より、有権者が地主や資産家など
一部の者に限られていたのを二十
五歳以上の男子に広げられた、初
めての村会議員選挙であった。七
谷村の有権者数も約四百人から一
挙に九百六十四人へと二・四倍に
増加し、村民の関心も高まった。
明治末から大正・昭和へと一貫
して村政に君臨してきた小野周平

加茂の風土記

昭和4年（1929）村会議
員選挙をめぐる新聞報道
（昭和4年3月22日付
「新潟新聞」より）



村長は、県会議員も兼ねる県民政党
の重鎮で、村会も民政党系議員で
占められていた。村会議員候補は
集落内での話し合いで決められ、
各集落からは最低一人の議員が出
されるよう調整され、ほぼ無風の
選挙であった。ところが今回は一
変し、小野村政への批判に加え、
国政における民政党と政友会の対
立が七谷村議選にも反映して、政
友会から七人の立候補者を出すに

至り、集落内での調整は全く不能
のまま、選挙戦に突入した。

激しい選挙戦の状況は、三月十
八日から六回にわたり「新潟新聞」
にも大きく報道され「模範村」七
谷村会議員選挙は、広く注目され
ることとなった。

選挙の結果、小野村長の与党で
ある民政党は、泉田淳一郎（前議
員）が五十九票でトップ、五位に
助役の山崎武二郎（前議員）五十
五票など九人が当選して過半数を
確保したものの、最下位に吉田久
平（前議員）三十八票で、次点の
外山藤亀平（新人）が三十六票な
ど苦戦が続いた。

これに対し、野党の政友会候補
は、亀山重太郎（新人）五十七票、
坂上久蔵（新人）五十六票、阿部
栄吉（新人）五十五票、笠原辰三
郎（新人）五十三票と、上位当選
を果たし、計五名が議席を占め、
小野村政の批判勢力として村会内
で認知されるようになった。
また、この選挙によって、西山
と下大谷から村会議員を出すこと
ができず、これまで「融和」を保
ってきた村会は大きく様変わりす
ることになった。

（長谷川昭一）

あーいさい市

社会福祉費寄付金
▼「あいさい市」から

一万五千元

人口のうごき

1月1日現在
世帯 10,273 (± 0)
人口 27,270 (-27)
男 13,261 (-16)
女 14,009 (-11)
()内は前月比
(12月異動分)
出生 9 (男3 女6)
死亡 28 (男13 女15)
転出 37 転入 29